

## アフタヌーンセミナー 7 [AS7]

日時：2026年4月10日(金) 14:30~15:30

会場：Room 10 会議室2 (マリンメッセ福岡B館)

4月10日(金)

第130回日本眼科学会総会  
アフタヌーンセミナー7We care about your eyes.  
いつもあなたの眼のために

HOYA

## 近視と緑内障

## :小児の近視進行抑制と近視性緑内障の最新マネジメント

座長

本庄 恵 先生 東京大学医学部 眼科学教室 教授

1995年 京都大学医学部卒業 眼科学教室入局  
 2001年 京都大学大学院視覚病態学修了 助手  
 2004年 北野病院眼科副部長  
 2006年 京都大学視覚病態学助教  
 2007年 東京都健康長寿医療センター  
 2015年 東京大学医学部眼科学教室講師  
 2019年 東京大学医学部眼科学教室准教授  
 2025年 東京大学医学部眼科学教室教授  
 現在に至る



演題

1

## 小児近視管理の最前線

演者

平岡 孝浩 先生 筑波大学医学医療系眼科 准教授

本講演では、日本における小児近視の現状を俯瞰し、緑内障をはじめとする近視関連眼合併症を未然に防ぐという観点から、近視管理の意義、特に早期介入の重要性について解説する。さらに、屋外活動、低濃度アトロピン点眼、オルソケラトロジー、多焦点コンタクトレンズ、近視管理眼鏡など、近年臨床現場で活用が広がっている各種近視管理手法の最新知見を紹介し、実臨床における治療戦略について考察する予定である。

1993年 筑波大学医学専門学群 卒業  
 1993年 筑波大学眼科入局  
 1999年 茨城西南医療センター病院眼科科長  
 2002年 筑波大学臨床医学系眼科 助手  
 2005年 筑波大学大学院人間総合科学研究科眼科 講師  
 2020年 筑波大学医学医療系眼科 准教授



演題

2

近視性NTGを見逃さない  
:中心10-2・OCT・眼軸長の実践

演者

齋藤 瞳 先生 東京大学医学部 眼科学教室 講師

近視眼ではPPAや血管の耳側偏位などの構造変化により、OCT読影や機能評価が難しい。さらに近視眼では、非典型的な中心視野障害から発症する緑内障も少なくなく、中心視野評価が重要となる。本セミナーでは中心10-2視野の実装ポイント、OCT読影の落とし穴と回避策を整理し、眼軸長・眼圧・年齢を組み合わせた層別フォロー(3か月/6か月/年1)の設計例を提示する。

2003.3 東京大学医学部卒業  
 2003.6 東京大学医学部附属病院眼科 研修医  
 2006.7 多治見市民病院眼科  
 2009.4 東京大学医学部附属病院眼科 助教  
 2011.4 公立学校共済組合関東中央病院 眼科 医長  
 2019.12 東京大学医学部 眼科学教室 講師 現在に至る

